中国四国

http://www.mod.go.jp/rdb/chushi/

第23号
平成26年1月発行

小野寺防衛大臣中国四国防衛局視察

11月30日、小野寺防衛大臣が中国四国防衛局を視察し、藤井局長から概況説明を受けました。

CONTENTS

① KC-130空中給油機の岩国飛行場への移駐計画
② スポーツ祭東京（第68回国民体育大会）
③ 駐留軍従業員永年勤続表彰
④ 平成25年度中国四国防衛施設地方審議会開催
⑤ 大臣感謝状贈呈
⑥ 局長感謝状贈呈
⑦ 岩国基地オリエンテーションでブリーフィング
⑧ 新局長着任
⑨ 人事異動

防衛省 MINISTRY OF DEFENSE
Chugoku-Shikoku Defense-Bureau
編集・発行　中国四国防衛局
〒730-0012　広島県広島市中区上八丁堀6-30
TEL 082-223-7109

KC－130空中給油機の岩国飛行場への移駐計画

～山口県と岩国市に説明～

平成25年10月30日、岸外務副大臣と木原防衛大臣政務官が、山口県庁と岩国市役所を訪問し、岩国飛行場に関する米軍再編計画に関し、10月3日に開催された「2＋2」共同発表で示された内容等について説明しました。

【KC－130に係る説明概要】

- ◆ KC－130の岩国飛行場への移駐については、移駐に関する二国間の協議を加速し、この協議を可能な限り速やかに完了させることを確認した。
- ◆ KC－130の移駐時期については、米軍の運用上の所要及び移駐に必要な施設の完成時期を踏まえつつ、日米間で鋭意協議を行った結果、15機のKC－130が2014年(平成26年)6月から9月の間に岩国飛行場へ移駐する見込みとなった。
- ◆ 沖縄の基地負担軽減を目に見える形で精力的に進める観点から、KC－130の岩国飛行場への移駐を実現させたいと思っているので、御理解、御協力を御願いする。

山口県庁での説明

木原防衛大臣政務官(左)と岸外務副大臣(右)

藤部山口県副知事(左) 柳居議長(中央) 畑原副議長(右)

岩国市役所での説明

木原防衛大臣政務官から説明を受ける福田岩国市長(手前右)

白木副市長(左)と福田岩国市長(右)

KC－130空中給油機の岩国飛行場への移駐計画

～小野寺防衛大臣　福田岩国市長と意見交換～

平成25年12月１日、小野寺防衛大臣は、岸外務副大臣とともに福田岩国市長等と面談し、政府としての沖縄の負担軽減を進める決意や普天間飛行場移設及び全面返還の今後の進め方について説明しました。

小野寺防衛大臣と福田岩国市長との会談

取材を受ける小野寺防衛大臣

【説 明 概 要】

- ◆ 沖縄の負担軽減の一環として、普天間飛行場の返還を一つの方向と位置付け、キャンプ・シュワブ沖へ埋立し、移設することで日米合意し、計画を進めている。
- ◆ 少しでも早く、目に見える形で沖縄の負担軽減を実現したい。
- ◆ 普天間飛行場の危険性の除去の第一歩として、KC－130空中給油機の岩国飛行場への移駐を認めて頂き、最終的に、1日でも早くキャンプ・シュワブ沖への全面的な移設を目指したい。
- ◆ 沖縄の負担軽減のために、特に普天間飛行場の危険性の除去のため、キャンプ・シュワブ沖への移設、埋立の了承を頂くことに、今後とも全力を尽くしていく。

KC－130空中給油機の岩国飛行場への移駐計画

～ 全員協議会開催～

平成25年12月９日、岩国市議会全員協議会が開催され、冒頭、藤井中国四国防衛局長から、岩国飛行場の運用に対する多大なる御理解と御協力への感謝の意を述べ、古屋地方 協力局地方調整課長からKC－130の岩国飛行場の移駐時期等について説明しました。

その後、岩国市議会議員の方々との質疑応答を経て、福田岩国市長から、「KC－130の移駐時期について、15機が来年（平成26年）6月から9月の間に岩国飛行場へ移駐するということについて、これを認めることとしたい」、「今後、県とも協議した上で最終的な判断を行い、国へ回答したい」旨発言されました。

12月16日、藤部山口県副知事、福田岩国市長、椎木周防大島町町、米本和木町長等は、菅内閣官房長官、岸田外務大臣、小野寺防衛大臣と順次会談し、その際、副知事から、「普天間飛行場が継続して使用されることがないよう政府が責任を持って取り組むとの不退転の決意を確認させていただいたので、県及び基地周辺1市2町としては、沖縄の負担軽減に協力すべきとの考えから、15機のKC－130が来年6月から9月の間に岩国飛行場に移駐する ことについては、これを容認することとしたい」旨発言されました。

福田岩国市長

藤井中国四国防衛局長

全員協議会の全景

スポーツ祭東京　～　第68回国民体育大会　～

9月29日～10月1日に行われた、スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会）のクレー射撃競技（トラップ）における広島県代表として当局調達部装備課　濵田和貴検査官（1陸尉）が出場しました。

トラップとは、射手の前方から左・中央・右方向へ秒速22～30mで飛び出す標的を秒速300m以上の散弾で撃つもので、瞬間の判断力と精密な動作が要求される競技です。
試合は25個撃ちを1ラウンドとし、それを4ラウンド行い、その成績により順位が決められます。

濵田検査官（1陸尉）

広島県及び濵田検査官の成績は、スポーツ祭東京2013で検索して下さい。

駐留軍従業員永年勤続表彰

米海兵隊岩国航空基地及び在日米陸軍第10地域支援群弾薬廠に勤務する勤続40年、30年、20年、及び10年を迎えた134名の従業員に対し、日米共同主催者代表から、防衛大臣及び各軍司令官連名の表彰状及び記念品を授与する永年勤続表彰式が行われました。

米陸軍第10地域支援群弾薬廠

米10月11日(ビューポートくれホテル：呉市)

米海兵隊岩国航空基地

10月21日(クラブ岩国：基地内)

平成25年度中国四国防衛施設地方審議会開催

11月14日、KKRホテル広島において、野坂文雄会長（もみじ銀行代表取締役頭取）をはじめとする8名の学識経験者の委員と藤井局長ほか担当職員が出席し、中国四国防衛施設地方審議会を開催しました。

審議会の様子

藤井局長挨拶

野坂会長挨拶

審議会は、当局松田企画部長から米軍再編事業やMV－22オスプレイの岩国飛行場陸揚げ等についての説明を行い、福島調達部長からは、米軍再編事業に係る建設工事や海自係船堀地区等における大型艦船の配備に伴う建設工事についての説明を行いました。

これに対して委員からは様々な角度からの意見が出され、有意義な審議会となりました。

午後からは、委員に対して防衛施設の運用及び防衛行政への理解を深めて頂くことを目的として、現地研修を企画しました。

海自呉地方総監部において、大井管理部長から呉地方隊概況説明を受けた後、海自係船堀地区栈橋で大型艦船の係留状況を確認するとともに、高速艇に乗船し、海上から防衛施設の視察を行いました。

海上からの吉浦燃料貯油所

高速艇船内で航行ルートの説明を受ける委員

係船堀地区で施設整備の説明を受ける委員

大臣感謝状贈呈

永年に亘り、当省の防衛政策に積極的に協力され、防衛施設の安定的使用に貢献されたとして、古木哲夫前和木町長と松浦正人防府市長の両氏が、小野寺防衛大臣から感謝状が贈呈されました。

小野寺大臣から感謝状を受ける松浦防府市長(左)

小野寺大臣から感謝状を受ける古木前和木町長(左)

10月26日（ホテルグランドヒル市ヶ谷：東京）

小野寺大臣と記念撮影

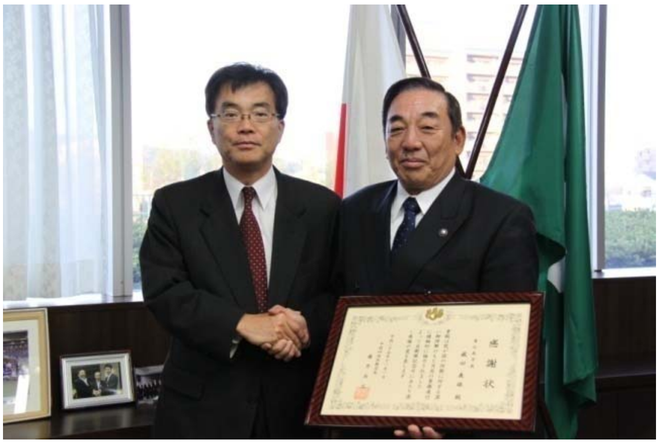
局長感謝状贈呈

我が国の防衛に対する深い理解のもと、当局の業務遂行に積極的に協力されたとして、藏田義雄東広島市長と稲田米昭前小松島市長に対し、藤井局長から感謝状が贈呈されました。

岩国飛行場米軍再編事業及び震災関連事業において、あらゆるニーズに積極的に対応し、所要の工事等を完成させた功績が多大であるとして、(株)長野総合建築事務所代表取締役長野英彦氏と新光産業(株)代表取締役社長古谷博司氏に対し、藤井局長から感謝状が贈呈されました。

11月1日：稲田前小松島市長(中央)

11月7日：新光産業　古谷社長(左)
長野総合建築事務所　長野取締役(右)


11月8日(東広島市役所)：藏田東広島市長(右)

岩国基地のオリエンテーションでブリーフィング

11月25日、米海兵隊岩国航空基地サクラホールにおいて、基地内の海兵隊員など全隊員を対象とした「オリエンテーション（セーフティブリーフィング）」が開催され、午前の部で福田岩国市長が、午後の部では藤井中国四国防衛局長が講演されました。

福田市長

福田市長は「皆さんと岩国市民が友好的な関係を維持し、日米の安全保障政策上、岩国基地が安定的な運用を図ることを期待する。市長として、市民の安心・安全を確保する立場にある。事件・事故の発生により、住民の信頼と理解が失われることは望まない」などと説明されました。

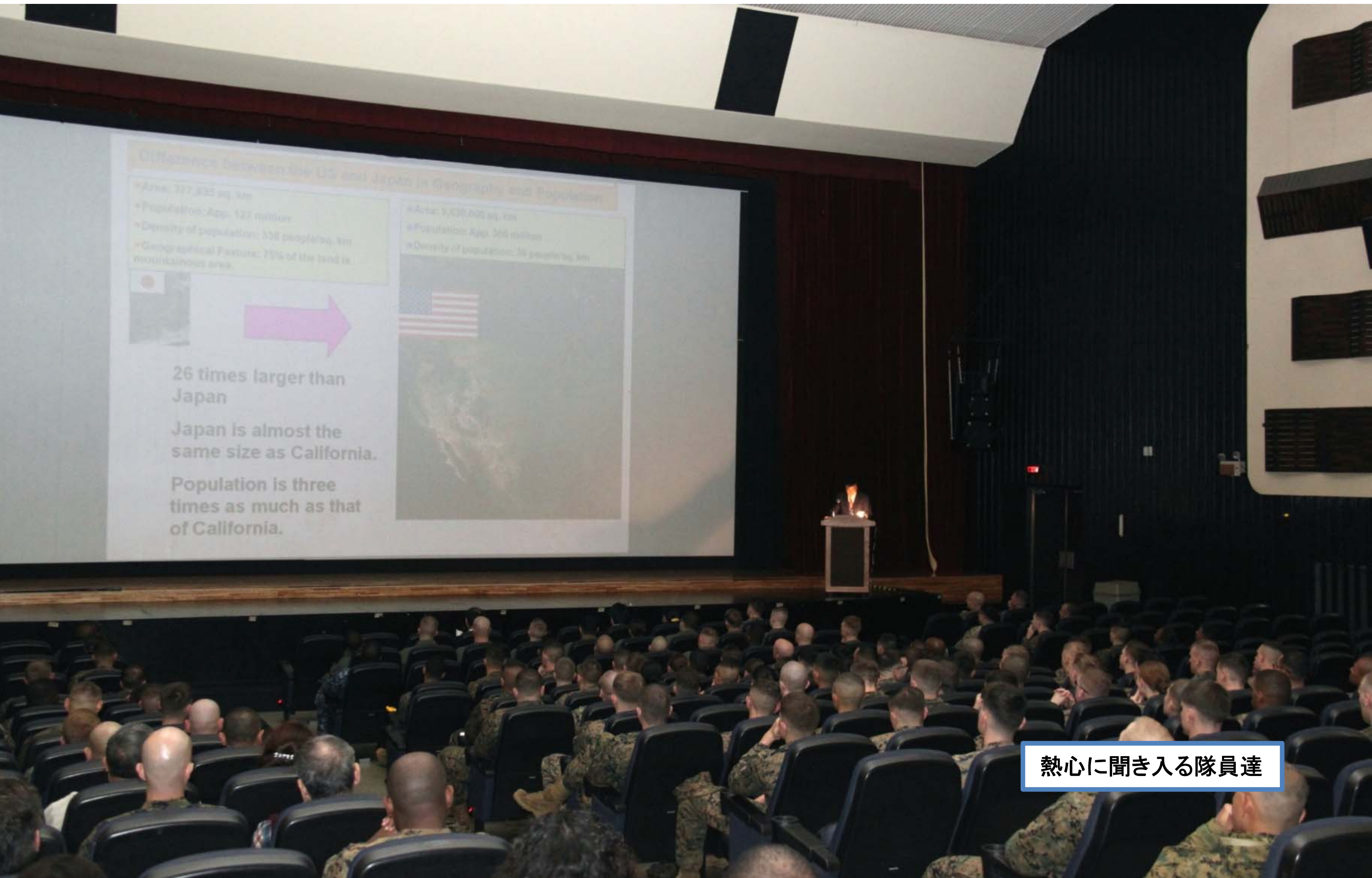
ブシェー基地司令官は、冬季休暇に入るにあたって、各人自覚を持って行動するよう注意喚起を促したうえで、中国四国防衛局から藤井局長を招いた旨を紹介されました。

ブシェー基地司令官

藤井局長

藤井局長は、皆さんが地元社会と良い関係を築き、ここ岩国での生活が有意義なものになることを期待しますとして、「日米の地勢的相違」、「事件・事故が地域社会に与える影響」及び「地域住民との交流」について説明しました。

セーフティブリーフィングは、主に夏や冬の長期休暇などの前に、基地に所属する全ての隊員を対象に安全意識の向上を図るために行われています。



熱心に聞き入る隊員達

藤井高文　新局長着任

中国四国防衛局長

藤井　高文

藤井高文　中国四国防衛局長の着任式が9月11日に行われました。

藤井局長は、「職員一人一人が日常的に行っている任務の遂行が、国家の安全と国家の安全保障に深く関わっていることについて、十分な自覚を持ち、決められた法令等ルールに則り、そしてそのルールを如何に効率的に実行していくか、自分の任務の遂行について、十分な思いをいたして頂きたいと考える。私自身も、皆さんとともに、当局の業務すなわち我が国の防衛に少しでも寄与すべく、全身全霊で取り組むことを固く誓う」と職員に訓示しました。

人事異動

８月の人事異動により新しく中国四国防衛局の幹部ポストに就いた職員を紹介します。

総務部長

兵庫　正彦

8月1日付けで、中国四国防衛局総務部長を拝命しました兵庫です。

当局の勤務は初めてですが、中国四国地区における防衛行政の拠点として防衛省と地域住民の皆様を繋ぐという重要な役割の一翼を担えるよう全力で取り組みますので、よろしくお願いします。

防衛補佐官

1等海佐　三上　大二

青森県の海上自衛隊大湊地方総監部防衛部から着任しました。

出身地である広島市で勤務できることを楽しみにしています。呉や江田島での勤務経験を生かし、防衛補佐官として局長を適切に補佐できるよう努めて参りますので、よろしくお願いします。

IWAKUNI日米交流合同コンサート開催のお知らせ

中国四国防衛局は、2月15日14時からシンフォニア岩国コンサートホールで「IWAKUNI日米交流合同コンサート」を開催する予定です。このコンサートは、米海兵隊岩国航空基地周辺の市民の方々と基地関係者の相互理解を深めるため実施するもので、今回で4回目の開催となります。入場無料ですので、ご参加の程よろしくお願いします。なお、コンサート当日の様子は、後日、山口県岩国市のケーブルテレビ局、(株)アイ・キャンで放送する予定となっております。